



9月2日時点の(左から)華国鋒、王洪文、葉劍英、江青、
(その後)張春橋、李先念 (UPIサン)

い不可能だろ
う。そうはいっ
ても、余震は
あるだろう。
特に文革派の
拠点であった
上海や、ある
いは天津など
が平穏なまま
で収まるもの
だろうか。
現に、華国
鋒主席昇格直
前の段階で、
どのような背
景を持つもの

かほ明らかではないが、四川
省や福建省でのかかり大規模
な混乱が伝えられている(ニ
ューズウィーク誌一〇月一八
日号)。
しかもその前から、毛主席
という「重し」が政治舞台の
前面から退く過程で、中国内
に規律や士気の弛緩がかなり
広範にみられた。急進派勢力
以外のものによる混乱もあり
えよう。
華主席は、「毛沢東思想」
の旗の下に、「党の団結と統
一を守り、組織性と規律性を
強め、党内の「右と左」の
日和見主義路線と闘う」(一
〇月一〇日の「人民日報」・
「紅旗」・「解放軍報」共同
社説)ことよってこの事態
を切り抜けようとしている。

これは容易な仕事ではない
だろう。しかし、「バランス
・オブ・パワー」の上に立つて
天安門事件や河北地震の難局
を無難にこなし、今日に至っ
た手腕(中央大宮山榮吉講
師)などからも判断して、軍
の支持のもとになんとか指導
体制を強めることに成功する
のではないだろうか。
ただそのためには、「党運
乱が続くだろう。

満も非常に高まっていた。
こうした大衆の欲求や不満
が、昨年の杭州のいくつかの
工場ストや今年四月の天安門
事件となって突出したわけ
で、このような動きが、最近
の中国社会の重要な潮流とな
っていた。
この潮流をあくまでも押し
とどめようとした急進派が逆
にはじき出されてしまった、
ということだろう。

タイムズ紙は、「第二文革」
の可能性ありと報じている。
しかし、そもそも文革は、
毛主席健全にしてはじめてな
しえたものであり、しかも彼
自身時にはまさに薄氷を踏ん
でこれを行なった。さらに収
拾に際しては、軍の手をかり
なければならなかったのであ
る。
いまや毛主席は亡く、おも
だった文革派メンバーは一網
打尽にされ、民衆や軍にも文
革時の大混乱回避の気持ち
強い。「第二文革」はとうて

い不可能だろ
う。そうはいっ
ても、余震は
あるだろう。
特に文革派の
拠点であった
上海や、ある
いは天津など
が平穏なまま
で収まるもの
だろうか。
現に、華国
鋒主席昇格直
前の段階で、
どのような背
景を持つもの

この潮流をあくまでも押し
とどめようとした急進派が逆
にはじき出されてしまった、
ということだろう。
ありえない「第二文革」
アメリカのニューヨーク・
タイムズ紙は、「第二文革」
の可能性ありと報じている。
しかし、そもそも文革は、
毛主席健全にしてはじめてな
しえたものであり、しかも彼
自身時にはまさに薄氷を踏ん
でこれを行なった。さらに収
拾に際しては、軍の手をかり
なければならなかったのであ
る。
いまや毛主席は亡く、おも
だった文革派メンバーは一網
打尽にされ、民衆や軍にも文
革時の大混乱回避の気持ち
強い。「第二文革」はとうて

SPOT

当世結婚総費用
しめて二八六万円也
秋の結婚シーズン前に、
三和銀行が「挙式前後の出納
簿」と題する調査結果を発表
した。これはアンケートによ
る調査で、回答のあった五二
三組(回答率三九・四%)に
ついてまとめたもの。
これによると、中堅企業の
サラリーマンの平均的な結婚
費用総額は約二八六万円とな
る。この直接の結婚費用以外
に、住宅などの経費も加わ
る。結局、当人同士ですべて
まかないきれず双方の両親か
ら計二一四万円出してもらっ
ているのが現状だ。
費用の内訳をみると、披露
宴、生活必需品のほかに、新
婚旅行の占めるウェイトも大
きくなっている。しかも時勢
を反映して四組のうち一組は
海外旅行という豪華さで不況
知らずだ。また婚約記念品、
新婚旅行は夫側、家具など生
活必需品は妻側と、費用が一
応分担されているものの、最
終的には半々の負担となっ
てる。